

新宮山彦ぐるーぷ第1836回―2

行仙宿・補給路石垣修復準備と笠捨山間の倒木処理作業など

◇実施日；平成27年9月12日(土)～13日(日)

◇参加者；青木宏充、梶野照雄、鈴木貴宏、山口泰宏（以上1泊2日）13日；沖崎吉信、川島 功、大江加予子、大江徳子、畑林清子。
計9名

9月12日(土) 快晴

茂原クニックとの懇親会は中止になったが、崩れた補給路石垣の修復が急務であるため、行仙宿で作業することになった。

午前7時に家を出る。五條のイオンで食糧や氷を調達して、大淀町経由で池原に向かう。午前10時過ぎにスポーツ公園に到着。青木車には、東京から奈良へ単身赴任中の鈴木氏が同乗。鈴木氏は先月、逆峯奥駈中弥山小屋で青木さんと知り合い、行仙宿まで同行された縁で、今回作業をお手伝い頂くことになった。

行仙宿へ向かう途中、佐田付近の養殖場でアマゴを購入、登山口には午前11時20分に着いた。



スポーツ公園で



アマゴ養殖場



登山口で

昼食後、13時過ぎから青木、鈴木、梶野の3名で補給路石垣の補修用の石を集め始める。



カラ池付近で石集め



一輪車・手箕で運搬



カラ池付近の東側窪地に適当なサイズの石があるのを、先週確認していたので、石集めはスムーズにできた。

14時前に遅れて登ってこられた山口さんが合流、4名となり作業が進んだ。最初は一輪車を一人で押して運んでいたが、登り坂で苦勞したのでロープを付け、引っ張りながら2人で運ぶようにして少し楽になった。

一輪車で8往復、手箕運びで5往復、70個ほどの石を崩れた石垣の前まで運んで15時過ぎに石運びを終了。

崩れた石垣を片付け始めるが、石を取りすぎると崩れていない部分も崩れそうになるので、通路部分を平坦にするだけにとどめる。その後、8月5日に伐採された斜面放置の杉の中で簡単に引き上げられそうな丸太材を補給路まで引き上げて本日の作業を終えた。

17時30分から夕食の準備を始めた。今回も食材の準備から

調理まで、全て青木さんが担当して下さり超感謝。アマゴの塩焼きと鹿肉は、本当においしかった。ビール、日本酒、焼酎で話が進み「さあ、寝よか」と言ったのが23時。外に出てみると上空は晴れていて星がたくさん見えている。少し風もあり半袖では肌寒い。ストーブのおかげで室内は23℃で朝まで快適だった。



アマゴ塩焼き



歓談中



12日の参加者

9月13日(日) 晴時々薄曇

6時過ぎに起床、窓から空を見上げるとよく晴れている。11日の予報では昼過ぎに一時雨であったが、雨の降る気配は無い。青木さん特製のサンドイッチで朝食。8時半から作業を始める。通信道の補修は台風シーズン後に行くことにし、新宮組が登ってくるまでの間に薪作りを行うことにした。

鈴木氏は青木さんの指導のもと、小屋東側に残っていた30cm程の木を小割に。東京生まれの鈴木氏は初めての薪割、斧でスパツというイメージだったようだが、そんなに簡単にはいかない。楔を打ち込んで割っていくうちに「コツがつかめた」と話しておられたが、たぶん明日は腕が筋肉痛になっているだろう。



薪割り中の鈴木氏



山口さんは斧で



新宮組到着

山口さんと梶野は、お堂前で完全に枯れてしまっていた8m程の木を伐採、小さく切って薪にした。

薪作りが終わりにかけた10時、新宮組5名が到着。新宮組は、まな板(2)、毛布(1)、トイレの紙入れ箱、湯呑(35)、サンダル10足；大江さん寄贈)を荷上げした。

川島代表は休む間もなく、チェンソーを出してきて笠捨山の倒木処理に行くという。鈴木氏が同行してくれることになった。鈴木氏は先日の縦走時、青木さんのアドバイスで通信道を通過、笠捨山は登っていないため、山頂まで行ってみるそうだ。

10時20分、2名が笠捨山に向けて出発。残った男性4名は斜面に残された伐採杉の引き上げ、女性陣3名は在庫調査や整理を担当した。

11時40分から昼食、食後残った作業を終え、13時30分ごろから下山準備を始める。

行仙宿↷笠捨山間の倒木処理

台風11号通過直後に歩いた登山者が、笠捨山↷行仙宿間に倒木が多くて歩くのに苦労したと宿泊利用ノートに記載されている。その後青木氏が踏破し、倒木約20本在るが、迂回でき歩行に支障がないが、行仙宿補強路側の杉が斜木していると報告があつた。来週の4連休を控え、南奥駆道を維持・管理している当ぐるーぷとして放置する訳にはいかず、倒木処理することにした。

川島はチェーンソーの刃を新品に替え背負い子に付け、同行の鈴木君には、1斗缶に燃料・オイル・手鋸・2人分の弁当と飲料水を入れ背負い子で担いで貰う。

10時20分出発。八大金剛童子像から登った尾根ピーク辺りから倒木が散見される。歩行に支障の枝は鈴木君が手鋸で切る。

笠捨山の鞍部手前の岩稜で昼食(12:10)する。この間に約10本の倒木をチェーンソー処理した。



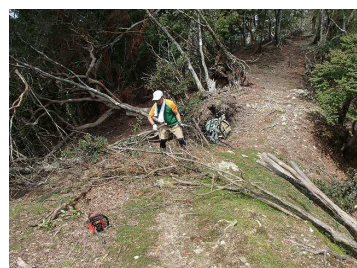
ヒメシヤラ倒木処理 歩行支障の枝・手鋸処理 道を塞ぐ倒木

昼食後、笠捨山直下の鞍部から少し登った地点に4〜5本の倒木がありチェーンソー処理する間に、鈴木君に空身で笠捨山山頂へ登頂して来る様に、その間の登路の倒木有無を確認して貰う。

笠捨山直下の疎林帯尾根迄登り鈴木君を待機。

鈴木君は、山頂に13時に登頂して13時10分に合流。山頂

迄倒木は無いとのこと。これまで約20本弱の生木・枯木の倒木を処理し持経宿へ戻る。

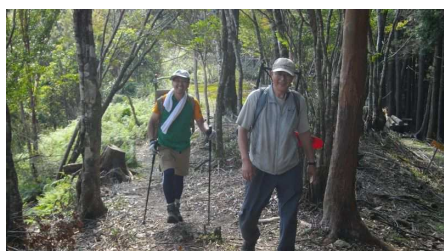


倒木処理

鞍部手前の岩稜で昼食 笠捨山直下の倒木

14時過ぎにZ022鉄塔へと登っていると、呼ぶ声があり「もう直ぐだ!」と返す、14時15分持経宿着。鈴木君ご苦労様でした。コーヒーが用意され餡餅もあり有難く頂く。

これで4連休前に南奥駆道が整備出来、登山客も快適・安全に歩けることであろう。(記 川島)



補給路谷側の補強

倒木処理班帰着

13日の参加者

14時15分、笠捨山倒木処理班2名が帰着。休憩後14時40分に下山開始、15時15分に登山口到着。登山口で解散。

新宮組は、帰路本日15時開通の奥瀬道路Ⅱ期工事部分の走り初めをするそうだ。

鈴木氏は今回初めて参加していたのだが、山口さんと共に水汲みにも行かれ、薪割にも挑戦、笠捨山の倒木処理にもご同行いただき、一番の功労者だと思う。赴任期間中に参加いただけるチャンスがあれば、是非参加をお願いしたい。

行動タイム

9月12日(土)

堺7:00→10:10 スポーツ公園→11:20 登山口→12:15 行仙宿
昼食13:00→作業→17:30 夕食→23:30 就寝

9月13日(日)

6:30 起床・朝食→8:30 薪割→10:30 伐採材引揚げ等→11:40 昼食→14:40 持経宿下山開始→15:15 登山口・解散。

新宮組：新宮7:30→9:10 登山口9:15→10:05 持経宿。

(記 梶野)